

## 令和元年秋期 金沢東部地区推進連絡会

### 1 日時

令和元年 11 月 23 日（土） 16 : 00～17 : 00

### 2 場所

谷津坂会館

### 3 参加者 35 名

（地域側）自治会等地域団体関係 20 名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 4 名

支援チーム 11 名

### 4 議事

#### （1）開会の挨拶

青木 地区連合町内会会長よりご挨拶。

金沢東部地区は 8 つの自治会町内会で構成され、約 11,000 人の住民が暮らしている。

第 3 期地域福祉保健計画は 5 つの分野で構成され、各部会のリーダーを中心に、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進している。今回はそれぞれの進捗状況及び課題を報告して頂く。そのうえでご意見等をいただければと思う。

#### （2）自己紹介

区・支援チーム・地域、各自自己紹介。

#### （3）区の挨拶及び概要説明

國原区長よりご挨拶。

その後、資料に基づき説明。

～「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らし続けるために」～

#### （4）金沢東部地区令和元年度の活動内容について

宮野 地区社会福祉協議会会長よりご挨拶及び各分科会の概要を紹介。

《各分科会代表より》

##### ○第一分科会

青木 地区連合町内会会長より説明。

第一分科会では、各会長を中心としたグループで防災の観点で活動して

いる。災害発生時の要援護者支援体制の確立を目指し、単位自治会町内会ごとにそれぞれ取り組んでおり、今年度の活動内容を資料としてまとめている。全体として、今年度は台風 15 号、19 号と大雨を経験し、今まで以上に防災意識が高まった。

また、地域防災訓練を 10 月 20 日（日）に西柴小学校、12 月 7 日（土）に西柴中学校で実施しました。特徴として、西柴小学校ではこれまで放水や機材の取扱訓練など行っていたが、今回は避難者の受入れを想定した訓練を行った。西柴中学校では、これまで機材の取扱訓練等を行ってきたが、今回は炊出しや物資の配布など行いました。

新たに各地区の連絡用に防災用無線機を購入し今後活用していく予定。

#### ○第二分科会

太田 シニアクラブ代表より説明。

第二分科会では、高齢男性の社会参加、健康寿命の延伸、孤立の防止を目的に『メンズエクササイズ』を立ち上げ、実施している。

内容は、インナーマッスルを鍛える、脳の働きを活性化するトレーニング、体力チェック、談話室での昼食会（半年に 1 回）を行っている。

男性専用体操教室であり、なかなか参加人数は増えないが、現在会員 15 名で定着してきている。

下半期は、転倒しない体力づくり、整骨院の先生の指導による腰痛等の改善、増員対策として無料体験会を実施予定。

#### ○第三分科会

瀬川 地区民生委員児童委員協議会副会長より説明。

第三分科会では、障害がある人が暮らしやすい地域を目指し取組を継続及び拡充している。本年度より推進メンバーが民生委員・児童委員に統一されている。民生委員・児童委員としても日々の活動の中で、地域状況の把握の難しさを感じている。

今年度は、障がい者の実情を把握するための施設訪問を実施、5 月 29 日（水）に泉区にある「協働舎・はたらき本舗」を民生委員・児童委員 17 名で訪問した。

下期は、金沢区の他地区と勉強会を開催し、各地区の取組を相互に学ぶ機会を作る予定。また、地域への発信方法として講演会の開催を検討している。

#### ○第四分科会

大泊 地区社会福祉協議会副会長より説明。

第四分科会では、子ども達が健やかで安心して成長できる地域を目指し、

4つの柱に沿って取り組んでいる。

親子の広場については、月・水・金曜日3箇所を実施し、順調に定着している。下半期は、事業の継続とスタッフの強化を検討している。

子育てサークルへの支援については、民生委員・児童委員、主任児童委員と連携強化により継続できているが、担い手が少ないことが引き続き課題。

小・中学生の健全育成支援については、「スペース谷津坂」の定期的な開催、世代間交流の促進については、今年初めての試みで晩晴会とスペース谷津坂の共催で「作って食べよう！」を実施。地域のこども7人と大人20人とでお好み焼きを作って交流した。

昼間の地域はこどもと高齢者しかいない。「他孫（たまご）育て」をキーワードに、お互いに交流することで地域でこどもを育て、高齢者もエネルギーを得られる活動をしていきたい。

#### ○第五分科会

宮野 地区社会福祉協議会会長より説明。

第五分科会では、地域の課題を地域で解決できるように取り組んでいる。全般的な課題として、地区社会福祉協議会の広報活動不足と活動資金の不足、ボランティアの不足。これに対して、各自治会町内会役員会を回らせていただき、地区社会福祉協議会のPRを行った。また、賛助会費を500円にアップし、目標の900名を達成した。

また、全体会を7月に実施、茅ヶ崎南地区社会福祉協議会との意見交換を実施した。

在宅福祉サービスについては、利用者のニーズの発掘が課題となっている。

金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会の並木のちょいボラ(※1)団体にボランティア発掘事例をヒアリングし、2月にボランティア養成セミナーを開催する予定。

※1 ちょこっとボランティア

#### ○谷津坂文庫について

青木 地区連合町内会会長より谷津坂文庫の概要について説明。

谷津坂会館の地下にある図書スペースで、地域の方々に図書の貸し出しを行っている。他の自治会町内会には見られない金沢東部地区特有の取組で、開設から今年で46年になる。

#### (5) 閉会の挨拶（林 地区連合町内会副会長）

地域の活動は続けていくことが大事だと思うので、これまで先輩方が継続

してこられた活動を受け継いでいきたい。

台風の時に称名寺東公園のスポーツ広場に崖から木が落ちた際に、翌日幼稚園の運動会が開催予定だったため土木事務所に相談したところ、早急に対応してもらい無事開催できた。行政の方々には、今後も地域の活動が継続できるよう支えていただきたい。